



品川区精神保健福祉家族会

# かもめ会だより



10月24日(火)にかもめ会講演会を きゅりあん で行います



題名 東京都における精神保健・医療福祉の動向

-当事者家族として、こころの病に寄りそって行くために-

講師 東京都立中部総合精神保健福祉センター所長 熊谷直樹先生(精神科医)

日時 2023年10月24日(火)14:00~16:00

会場 品川区立総合区民会館 きゅりあん 6階 大会議室(品川区東大井5-18-1)  
JR 京浜東北線大井町駅中央口駅前

申込 かもめ会 庄田(03-6768-4797)または shoda3@east.cts.ne.jp へ

皆さまどうぞお誘い合わせの上ご参加ください。

後援 品川区 品川区社会福祉協議会

東京都における精神医療や保健福祉の動向をお話いただき、地域において  
当事者も家族も楽しく安心して暮らすため、知っておきたい  
社会資源の情報などをご講演いただきます。

東京都における  
精神保健・医療福祉の動向  
当事者家族として、こころの病に寄りそって行くために

かもめ会講演会

参加費無料

日時 2023年10月24日(火) 14:00~16:00

会場 きゅりあん 大会議室(品川区立総合区民会館)  
JR 京浜東北線大井町駅中央口駅前(品川区東大井5-18-1)

講師 熊谷直樹(くまがいなおき)先生  
東京都立中部総合精神保健福祉センター所長  
精神科医師(精神保健指定医、精神科専門医)  
講師略歴  
東京大学医学部附属病院、東京都立松沢病院医長、  
東京都立中部総合精神保健福祉センター課長、  
東京都福祉保健局障害者医療担当部長などを歴任し、  
2017年より現職  
東京都地方精神保健福祉審議会幹事の一人。

主催 品川区精神保健福祉家族会  
かもめ会 会長 庄田 洋

参加ご希望の方はかもめ会(03-6768-4797)またはshoda3@east.cts.ne.jpにお申込み下さい

かもめ会講演会のポスター



## 11月15日 かもめ会おしゃべり会（3回目）のお知らせ

今回は精神保健家族勉強会（次の記事）が始まる少し前に荏原保健センター（仮移転中）の裏手にある五反田文化センターでかもめ会おしゃべり会を行います。今回の会でも区議会議員の方をお誘いしてお弁当をいただきながらおしゃべりを聞いていただきたいと思いますと考えております。当日はお弁当とお茶を用意いたします。

予約の都合で事前参加申込が必要です、連絡は庄田まで。

日時 11月15日（水）11：00～13：00に実施

会場 五反田文化センター 3階 講習和室（品川区西五反田6-5-1）

東急目黒線 不動前駅 下車徒歩7分 下記地図参照

※五反田文化センターは、荏原保健センター（仮移転中）隣の消防団本部と、並びの不動産屋のあいだの坂道を登った突き当たりの建物です。突き当たって右側の坂を少し降りると、左手に入口があります。3階の講習和室までお越してください。

申込 090-6190-6186 / shoda3@east.cts.ne.jp 庄田まで 会員は無料



## 11月精神保健家族勉強会開催のお知らせ

日時 2023年11月15日（水）13：30～15：30（荏原保健センター主催）

会場 荏原保健センター 仮移転先 多目的室 品川区西五反田6-6-6

内容 「懇談会」の予定

皆様のご参加をお待ちしています。参加希望の方は、荏原保健センター ☎03-5487-1311 保健担当にお電話ください。なお、荏原保健センターの改修工事のため前回の7月勉強会から会場が西五反田に移転いたしました。（渡邊保健師さん）



## ふくしまつり 2023 に参加しました

まだまだ暑さが収まらぬ9月16日(土)、品川区立中小企業センターにて、ふくしまつりが行われました。

かもめ会は、よろず相談会と撮影会を開催。精神保健福祉士の資格を持つ横田信子副会長と廣田直子、加えて午後からは元港区の福祉職員で社会福祉士の長谷川千代さんが合流して、主に2件の相談を伺いました。



家族撮影会はフォトグラファーの庄田洋会長がチェキ(ポラロイド)で撮影し、その場でプリントを手渡しという前回に続いて人気の企画です。小さいお子さんを連れた御家族やバザー疲れで一休みに来た女性、アイテムを装着してポージングする青年等をパチリ! 他にも庄田会長の息子さんが電動車椅子でいらしたり、議員や区長が挨拶に来られたりと、かもめ会の狭いブースは絶えず賑やいでいました。

ふくしまつりの現地開催は4年振り。焼きそば等の模擬店や福祉事業所の菓子販売等がありました。中でもバザーは人気で、かもめ会の皆様も掘り出し物をGet! 会場が肌寒かったので廣田もブラウスを100円で買いました。

来年の詳細は未定なのですが、また開催されたら皆様も行かれてみたらいかがでしょうか。楽しいですよ。(廣田直子)



## 品川宿まるまる荘さんがB型事業所を新規開設しました

2021年3月にかもめ会施設見学会でお邪魔した、戸越公園駅近くの自立訓練事業所「品川宿」さん(運営:一般社団法人まるまる荘/品川区戸越5丁目11-7 FMビル)。このたび同ビル内に就労継続支援B型事業所を開所されましたので、8月30日開催の説明会に参加してきました。

就労継続支援B型作業所は9月1日、品川宿のビルの3階にオープン。1日に通える定員は10名まで、開所時間は平日9:30~16:00(木曜はスタッフ会議があるため15:00まで)とのこと。

就労継続支援B型の作業としては、①ぬか漬けの製造(野菜は屋上で生産予定)・販売(サブスク宅配、飲食店に納入など)、②組立てなどの軽作業、③ぬいぐるみやビーズキット作成などを予定。作業は1コマが40分間で、利用は週1回・1コマからでもOKとのこと。また、どの作業を選ぶかは利用者本人が決めていいそうです。工賃支給日は毎月15日で、目標は月5,000円(時給制)。たくさん稼ぎたいというよりも、自分のペースでゆっくり働きたい方向けと言えそうです。

自立訓練の利用期間は、国のルールで原則最長2年間と決まっています。そのため品川宿さんとしても「自立訓練の卒業生たちが引き続き通える居場所を」との思いにより、この度の就労継続支援B型の開所に至ったようです。自立訓練からは現状で3名の方が就労継続支援B型に移行予定とのこと。なお、就労継続支援B型には利用期間の上限はありません。





自立訓練の利用者さんの年齢層は、10代後半から60代半ば（平均年齢は40代半ば）。8割が精神疾患（PTSD、被虐待など含む）で、残り2割は身辺自立のできている知的障害の方たちだそうです。なお、施設は使いやすくきれいにリフォームされていますが、建物内は階段のみなので、ゆっくりでも階段を使って3階まで上がれることも利用の目安になりそうです。

事業所の特長として興味深いのは、「4日以上休みが続く場合は間に1日オープンする」という取り組み。長期休みで通う所がなく、不安に陥ることのないよう、たとえばゴールデンウィークは5月5日、年末は12月31日に開所することで、居場所の確保に努めているそうです。

自立訓練・就労継続支援B型ともに、利用には受給者証が必要です。利用をお考えの方は、担当の相談支援専門員やケースワーカー、保健師さんなどにご相談ください。毎月の利用料は、利用者本人に所得がなければ0円、所得がある場合はその金額により毎月の負担上限額が9,300円または37,200円となっています。ご本人の負担上限額は受給者証に記載されますので、そちらをご確認ください。

戸越公園駅前の商店街に位置しており、地域とのつながりを重視している品川宿さん。ゆくゆくは、就労継続支援B型での駄菓子屋運営などにも挑戦したいそうです。説明会当日も、店頭では利用者の皆さんが作成した工芸品などの販売が行われていました。季節によっては野菜を売っているときもあるようです。利用をお考えの方のみならず、お近くに行かれることがありましたら、ぜひ覗いてみてください。



とごし公園通りの中ほどに位置する「まるまる荘」（写真右端）



## 品川区新庁舎アクセシビリティのヒアリングに参加しました

品川区の新庁舎整備課から区内の障害福祉団体であるかもめ会に対し、新庁舎のアクセシビリティ（施設利用のしやすさ）に関するヒアリングのご案内がありました。ついてはかもめ会単独で2回、他障害福祉団体と合同で1回の合計3回にわたり、会長以下数名で参加してまいりましたのでご報告いたします。



新庁舎整備課の担当職員からは、誰もが使いやすいエレベーターやトイレなど、現状での区の考えについての説明がありました。それを受けてかもめ会からは「福祉関係の窓口はワンストップで」「喫煙を好む精神障害者もいるので、近くに喫煙スペースの確保を」「館内に福祉避難所の設置を」「屋上など高所には高めの柵を設けて」「どんな障害の方にも使いやすいトイレを」などを繰り返し要望しました。皆さまからも何かご意見・ご要望がありましたら、ぜひかもめ会までお寄せください。